

科目一覧

修学基礎.....	2
ライフデザインⅠ.....	4
パターンゼミⅠ.....	6
ヘア・メイク・ネイルⅠ.....	8
色彩士検定3級.....	10
ベーシックデザイン(色彩).....	11
ベーシックデザイン(クロッキー).....	12
服飾造形Ⅰ.....	13
ファッションビジネス概論Ⅰ.....	14
ウォーキングⅠ.....	15
マテリアル.....	16
海外デザインプログラムⅠ.....	17
PM検定講座Ⅰ.....	18
デジタルワークⅠ.....	19
アパレルCAD演習Ⅰ.....	20
ファッションデザイン画Ⅰ.....	21
進級制作Ⅰ.....	22
PM検定講座Ⅱ.....	23
ファッションビジネス概論Ⅱ.....	24
服飾造形Ⅱ.....	25
情報デザイン検定.....	26
ビジネスマナー／インターンシップ.....	27
ファッションビジネス検定Ⅲ.....	28
ファッションデジタルⅢ.....	29
パターンゼミⅢ.....	30
工業パターンⅠ.....	31
立体的裁断Ⅰ.....	32
アパレルCADⅡ.....	33
デザイン画表現Ⅱ.....	34
ウォーキングⅡ.....	35
ブランドプロデュースⅠ.....	36
ファッションビューティーⅠ.....	37
デニムジーンズゼミⅠ.....	38
ドレス・コスチュームメイキングⅠ.....	39
ライフデザイン③.....	40
ファッションデジタルⅣ.....	41
パターンゼミⅣ.....	42
アパレルCADⅢ.....	43
デザイン画表現Ⅲ.....	44
サンプルメイキング.....	45
3DモデリングⅠ.....	46
美容技術Ⅰ.....	47
ブランドプロデュースⅡ.....	49
ファッションビューティーⅡ.....	50
デニムジーンズゼミⅡ.....	51
ドレス・コスチュームメイキングⅡ.....	52
ライフデザイン④.....	53
進級制作Ⅱ.....	54
ファッションビジネス検定Ⅳ.....	55
海外デザインプログラムⅢ.....	56
ファッションデジタルⅤ.....	57

パターンゼミⅤ.....	58
服飾造形Ⅲ.....	59
立体的裁断Ⅱ.....	60
アパレルCADⅣ.....	61
デザイン画表現Ⅳ.....	62
ウォーキングⅢ.....	63
ブランドプロデュースⅢ.....	64
ファッションビューティーⅢ.....	65
デニムジーンズゼミⅢ.....	66
ドレス・コスチュームメイキングⅢ.....	67
ライフデザイン⑤.....	68
ファッションデジタルⅥ.....	69
アパレルCADⅤ.....	70
デザイン画表現Ⅴ.....	71
3DモデリングⅡ.....	72
美容技術Ⅱ.....	73
ブランドプロデュースⅣ.....	75
ファッションビューティーⅣ.....	76
デニムジーンズゼミⅣ.....	77
ドレス・コスチュームメイキングⅣ.....	78
ライフデザイン⑥.....	79
卒業制作.....	80
海外デザインプログラムⅡ.....	81

修学基礎

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：2 開講期：通年 科略：FD 学年：1年 コマ数：1 企業連携：
— 実務経験のある教員による授業科目：—

花田 洋通 重藤 郁

■ 授業内容

自己理解・他者理解を行い、学校生活での目標設定を定めていく。またデザイン思考のプロセスを学ぶ。

■ 到達目標

この授業では学校生活を円滑に送れるようにルールやシステムの理解を促すとともに就職を意識するための第1歩として社会人基礎力の必要性を伝えていくことを目的としている。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	社会人基礎力について 自己評価チェックシート
3	自己理解について
4	自己理解について
5	デザイン思考の流れ
6	共感 観察 課題の明確化
7	共感 観察 課題の明確化
8	定義 ペルソナ
9	発想 ブレインストーミング
10	発想 スケッチ 絵コンテ
11	表現と発想 グラフィックレコーディング
12	表現と発想 プロトタイプ
13	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
14	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
15	デザイン思考のまとめ 分析 振り返り
16	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
17	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
18	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
19	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
20	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
21	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
22	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
23	ビジネス能力検定三級 検定対策講座
24	クリエイティブな仕事への理解
25	クリエイティブな仕事への理解
26	クリエイティブな仕事への理解
27	クリエイティブな仕事への理解
28	企業研究
29	企業研究
30	社会人の収入と支出について

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	65	0	15	0

■ 使用教材・用具

教科書 筆記用具

ライフデザイン I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：通年 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

金子 千恵

■ 授業内容

クラス別、学科別の行事に対応。就職活動準備も同時におこなう。また後期では進級制作対応、企画および制作を行っていきます。

■ 到達目標

自分と考えの違う他者と協調し、共同活動を成功させるための精神を身につけることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	学校生活のためのガイダンス
3	個人面談①
4	個人面談②
5	個人面談③
6	球技大会準備①
7	球技大会準備②
8	球技大会準備③
9	球技大会準備④
10	学校行事
11	学園祭準備① 各授業課題対応①
12	学園祭準備② 各授業課題対応②
13	学園祭準備③ 各授業課題対応③
14	学園祭準備④ 前期試験について
15	学園祭準備⑤ 夏期休暇中のスケジュール確認
16	学園祭片付け
17	進級制作対応①
18	進級制作対応②
19	球技大会準備
20	学校行事
21	個人面談①
22	個人面談②
23	個人面談③
24	進級制作対応③
25	進級制作対応④
26	進級制作対応⑤
27	進級制作対応⑥
28	進級制作対応⑦
29	進級制作対応⑧
30	進級制作対応⑨

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	20	30	0	20	0

■ 使用教材・用具

縫製道具一式・製図道具一式

■ 履修上の注意

クラス全体で動かなければならない内容となる為、全員必ず履修すること

パターンゼミ I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：6 開講期：通年 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

人体を用いて各部位の採寸を学んだ後、1/4縮尺原型と縮尺定規を使用し、シャツ、パンツなどを製図。人体は丸みを帯びている為ダーツを取りながら体に沿ったパターンを作ります。その為、ダーツ位置や移動を学びます。後期ではディテールを組み合わせたトップス、ボトムス、ワンピースのパターンの考え方を学んでいきます。

■ 到達目標

パターンを制作する上で、人体用語や基礎的なパターン用語が理解できるようになる。縮尺パターンを引く事によりパターンを引く手順が理解出来る。進級制作のオリジナルデザインでの制作に向けて、テーラード、2枚袖の引き方が理解し、ダーツ操作によりデザイン変化させる事、平面製図での衿の引き方が理解出来る。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	フラットパターンの知識／パターンについて・原型作成
3	人体測定／縮尺道具の使い方
4	身頃・袖・スカート原型の名称
5	レディースオープンカラー半袖シャツ（身頃・衿）
6	レディースオープンカラー半袖シャツ（袖）
7	メンズオープンカラー半袖シャツ（身頃・衿）
8	メンズオープンカラー半袖シャツ（袖）
9	学校行事
10	パンツについて（前パンツ・後ろパンツ）
11	身頃原型ダーツ操作によるデザインについて
12	フレアスカート（展開による）
13	フレアギャザースカート（展開による）
14	ヨーク切り替えのフレア・ギャザースカート（展開による）
15	タイトスカート製図
16	見頃続きの衿について（テーラード）
17	2枚袖の考え方
18	台衿つきシャツ
19	台衿の考え方、バリエーション
20	パフスリーブブラウス
21	パフスリーブバリエーション
22	ワンピースバリエーション①
23	ワンピースバリエーション①
24	ワンピースバリエーション②
25	ワンピースバリエーション②
26	見頃ダーツ操作によるデザインについて①
27	見頃ダーツ操作によるデザインについて②
28	ワイドパンツ（裾ダブル）
29	スリムパンツ
30	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	50	35	5	10

■ 使用教材・用具

パターンファイル、プロジェクトペーパー、はさみ、カッター、縮尺定規、パターンメイキング技術検、定試験3級ガイドブック

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

ヘア・メイク・ネイルⅠ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：6 開講期：通年 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■授業内容

ヘア・メイク・ネイルの基礎知識を学習。ファッションの歴史、時代背景を振り返り、ヘア・メイクアップの技術を身につけていきます。アップ用ウィッグを使用してヘアアレンジの基礎技術を習得していきます。

■到達目標

ベーシックメイクアップ、ヘアアレンジ、ネイルアート作品作成。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる

■授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	メイクアップ基礎知識 皮膚の仕組み、自分の顔を知る・分析シート
3	スキンケア～ベースメイクアップ
4	顔の基本のプロポーション
5	ポイントメイク
6	イメージメイクアップ1 色・形・質感
7	イメージメイクアップ2 メイクプランシート作成
8	ヘアアレンジ基礎1 ピンの留め方、ゴムの結び方
9	学校行事
10	ネイルケア・アート基礎
11	ネイルケア・アート基礎
12	ネイルケア・アート基礎
13	ヘア・メイク自由作品イメージ立案
14	ヘア・メイク自由作品イメージ
15	ヘア・メイク自由作品イメージ写真撮影
16	イメージ別メイクアップ キュート
17	イメージ別メイクアップ エレガント
18	イメージ別メイクアップ フレッシュ
19	イメージ別メイクアップ クール
20	年代別ヘアメイク 1920年代
21	年代別ヘアメイク 1950年代
22	年代別ヘアメイク 1960年代
23	ヘアメイク自由作品イメージ立案
24	ヘアメイク自由作品イメージ立案
25	ファッションショーに向けてヘアメイクデザインの立案
26	ファッションショーに向けてヘアメイクデザインの立案
27	ファッションショーに向けてヘアメイクデザインの立案
28	ファッションショーに向けてメイクアップ練習
29	ファッションショーに向けてメイクアップ練習
30	ファッションショーに向けてメイクアップ練習

■評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	10	30	0	10	30

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

色彩士検定3級

分類：基礎科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村木 威文 重藤 郁

■ 授業内容

テキスト「Color Master (Basic)」を用い、色について基礎知識を学習し、色彩士検定3級の受験申し込みから受験までを行う。

■ 到達目標

将来就くであろうデザイン業界の仕事の中でその必要性に応じ正確に「色彩」について理解することができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	オリエンテーション 色のなりたち
3	混色①
4	混色②
5	色の表示方法①
6	色の表示方法②
7	色の知覚的效果①
8	色の知覚的效果②
9	色の心理的效果①
10	色の心理的效果②
11	色の心理的效果③
12	色彩調和
13	模擬試験
14	模擬試験
15	模擬試験の振り返り／まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	40	50	10

■ 使用教材・用具

教科書：カラーマスター (Basic)

その他：色彩士検定3級受験の対策問題集 Vol.4

■ 履修上の注意

色彩士検定3級受験は、卒業時までには必須。検定対策の講義授業のため出席率及び普段の授業態度を重視する。

■ 実務経験概要

企業依頼のデザイン制作において、色彩計画を展開した実績で授業を行う。
(色彩士検定1級取得者)

ベーシックデザイン(色彩)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：一

河本 恵美

■ 授業内容

テキストを用いて各单元ごとに知識を身につけていくとともに一单元課題で理解を深める

■ 到達目標

色彩は検定3級合格レベルの基礎知識を習得し、手作業による完成度の高い作品を制作する

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	自己紹介のための自由な色彩表現
3	色の本質
4	表色系
5	色立体
6	p.c.c.s トーン
7	混色（加法混色と減法混色）
8	色の視覚効果・視認性
9	色名
10	色の対比・同化
11	色彩心理
12	色出し
13	配色調和
14	配色調和
15	配色調和

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	95	0	5	0

■ 使用教材・用具

アクリルガッシュ・配色カード・色鉛筆等・黒ペン（マッキー PIGMA 等）

■ 履修上の注意

課題の内容を文章で充分理解を深め、締め切りを守って作品を全て提出する

ベーシックデザイン(クロッキー)

分類：基礎科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

大橋 裕子

■ 授業内容

1回5分～15分程度でクロッキーを重ねていく。対象物をよく観察し、重心・バランス・骨格等をとらえた表現について学ぶ。人物の場合は相互モデルで行う。野外の場合は風景や植物を対象とする。

■ 到達目標

短時間でとらえた対象物のイメージを、生き生きとした線で表現できるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	クロッキーとは 鉛筆での表現について
2	立ちポーズ 全身プロポーション
3	立ちポーズ 顔の比率
4	立ちポーズ アイテム
5	立ちポーズ アイテム
6	座りポーズ
7	座りポーズ
8	座りポーズ
9	野外クロッキー
10	野外クロッキー
11	着彩クロッキー
12	着彩クロッキー
13	群像 複数人数
14	群像 複数人数
15	群像 複数人数

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	85	0	15	0

■ 使用教材・用具

クロッキー帳、鉛筆、消しゴム、カッターナイフ、水彩絵の具

■ 履修上の注意

必要な画材を忘れずに持参すること。制作に丁寧に向き合うこと。

■ 実務経験概要

数十年にわたる作家活動やデッサンのキャリアを活かし、基礎勉強を通してイラスト制作等に応用できる表現力を養う。

服飾造形 I

分類：専門科目 形態：実習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：6 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり、小橋 佳代

■ 授業内容

1期では各種ポケット、衿、各種ファスナー付けなどを行う。2期ではパターンゼミの授業と連動したパターンメイキングを使用し、スカート・シャツ・パンツ縫製を行う。

■ 到達目標

縫製についての基礎知識（縫い代付け、裁断、縫製手順）が理解できるようになり、各種専門道具の使い方が分かるようになる。また基本のアイテムの製図から縫製までの一連の流れを理解し、それぞれの工程で技術を習得する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	手始末（ボタンつけ・切り簇・まつり縫い）・ミシン縫製（直線・曲線縫い）／ミシン講座
3	トップス①（裁断・ポケット四角・丸）
4	トップス②（コンシールファスナー・見返し・裾・仕上げ）
5	オープンカラーシャツ衿（裁断・芯貼り・本縫い）
6	パンツファスナー・ベンツあき（裁断・芯貼り・本縫い）
7	箱ポケット・フラップポケット（裁断・芯貼り・本縫い）・1期まとめ／ファイル提出
8	セミサーキュラースカート①（製図・裁断）
9	セミサーキュラースカート②（縫製・仕上げ）
10	タイトスカート（裁断・縫製・仕上げ）
11	ブラウス①（裁断・縫製）
12	ブラウス②（縫製・仕上げ）
13	ストレートパンツ①（製図・裁断）
14	ストレートパンツ②（縫製）
15	ストレートパンツ③（縫製・仕上げ）・まとめ／ファイル提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
10	0	80	0	10	0

■ 使用教材・用具

裁縫道具、製図道具一式

必要に応じて授業内で糸や生地を指示します。

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

- ・企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。
- ・アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

ファッションビジネス概論 I

分類：専門科目 形態：講義 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

小橋 佳代

■ 授業内容

ファッションビジネス能力検定 3 級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定 3 級問題集」にて復習を行う

■ 到達目標

ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定 3 級ビジネス科目で 60 %以上の正答率が可能になる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ビジネス基礎知識
2	ファッションビジネスの定義と特性
3	繊維ファッション産業の流れ
4	ファッション生活・ファッション消費
5	消費者行動とファッション表現
6	ライフスタイルとファッション
7	お客様の購買行動
8	アパレル産業の概要
9	ファッション小売産業の概要
10	マーケティングの基礎知識
11	マーケティングの分類方法
12	ファッションマーチャンダイジング
13	ファッションマーチャンダイジング
14	ファッション流通
15	ファッション産業の職種概要

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	20	60	10	10

■ 使用教材・用具

ファッションビジネス能力検定 3 級公式テキスト

ファッションビジネス能力検定 3 級公式問題集

■ 実務経験概要

アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

ウォーキングⅠ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：1年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

橋本 典子

■ 授業内容

身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学ぶ。

■ 到達目標

進級卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用し、ランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	昨年度のファッションショーの DVD を見る
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習
4	基本的なウォーキング①
5	基本的なウォーキング②
6	半ターンの練習①
7	半ターンの練習②
8	A ターンの練習①
9	A ターンの練習②
10	B ターンの練習①
11	B ターンの練習②
12	撮影（今の状態を確認・修正）
13	ポージング①
14	ポージング②
15	ポージング③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	30	70

■ 使用教材・用具

スニーカー、動きやすい服装（足のラインがわかるもの）、女性はヒールの靴

マテリアル

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：1期 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

繊維、糸、布の構成加工等の特性を学び、布に関する基礎知識を習得する。

■ 到達目標

繊維、糸、布の構成、加工など布の特性を学ぶ事で、服の用途によって素材の使い分けができるようになる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	マテリアルとは 天然繊維、化学繊維の種類について
3	織物の三原組織について
4	繊維の性能、加工について
5	糸の種類、太さについて
6	織物の名称、柄の名称
7	素材の特性について
8	編み物の種類

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	40	5	15

■ 使用教材・用具

筆記用具、生地の辞典

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

海外デザインプログラム I

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：2期 科略：FD 学年：1年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

長船 圭二

■ 授業内容

1年次では西洋文化を理論的に学習します。様々なジャンルを知ることで、複合的に知識を高めていきます。また後半ではグループワークを通じてテーマ研究をおこない、グループ発表をおこないます。

■ 到達目標

西洋服装・美術・建築の文化や歴史の基礎知識を習得する。また、滞在地の観光エリアや美術館の知識を身につけ、グループ活動を適切におこなう計画力を養います。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	西洋文化について.1（西洋美術史）
3	西洋文化について.2（西洋服装史）
4	西洋文化について.3（西洋文化・建築）
5	西洋文化グループ研究.1（グループ別 研究テーマ）
6	西洋文化グループ研究.2（グループ別 研究テーマ）
7	西洋文化グループ研究.3（グループ別 研究テーマ発表）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	50	0	0	0	0

■ 使用教材・用具

ノート PC（インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます）

PM検定講座 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：2期 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

パターンメイキング技術検定試験3級実技試験に向けて、ブラウスの製図及びトワールの組み立てを行う。

■ 到達目標

ブラウス・シャツの製図方法の理解。トワール、シルクピンの扱い方を学び、検定課題であるブラウス、シャツの組み立て手順が理解できるようにする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	PM 検定課題のブラウス A 平面製図
3	PM 検定課題のブラウス B 平面製図
4	ブラウスパターントレース、裁断、ピンの打ち方について
5	立体の組み立て方
6	ブラウス A 組み立て提出
7	ブラウス B 組み立て提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	5	15

■ 使用教材・用具

製図用具 洋裁道具一式

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

デジタルワーク I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

長船 圭二

■ 授業内容

ハードの基本的操作方法からバックアップ方法などを学び、Adobe Illustrator ではペンツールなどの基本的オブジェクトの編集方法、Adobe Photoshop では画像のレタッチなどを名刺制作などを通じて学びます。

■ 到達目標

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して課題制作に取り組む。初級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ハードの管理とソフトウェアの説明
2	Adobe Illustrator の基本操作.1（ペンツール操作）
3	Adobe Illustrator の基本操作.2（基本オブジェクト操作）
4	Adobe Illustrator の基本操作.3（文字入力・編集）
5	Adobe Illustrator の基本操作.4（写真トレース）
6	Adobe Illustrator の基本操作.5（複合課題）
7	Adobe Photoshop の基本操作.1（加工方法等）
8	Adobe Photoshop の基本操作.2（複合操作.1）
9	Adobe Photoshop の基本操作.3（複合操作.2）
10	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.1（名刺制作）
11	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.2（名刺制作）
12	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.3（名刺制作）
13	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.4（テーマ制作）
14	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.5（テーマ制作）
15	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop 複合操作.6（テーマ制作）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン（MacOS）を持参。

■ 実務経験概要

アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験

アパレルCAD演習 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり

■ 授業内容

アパレル CAD の基本操作を習得。基本操作 操作方法 システムの流れを説明、手でパターンを引くように CAD を使って操作出来るように理解する

■ 到達目標

アパレル CAD を使って製図が出来るよう学習。簡単な囲み製図から服の形を理解して作図技法を習得する

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アパレル CAD 基本操作方法
2	ハイパーパターンメイキングとは・・・
3	ポケット フレアスカート作成
4	①ティアードスカート JIS 記号の入れ方
5	②胸当て付エプロン 線の引き方
6	③ワンピース
7	フィリップコピー方法
8	④切替ギャザースカート
9	抜き取り方法
10	⑤フード付ブルゾン
11	カーブルーラーの使い方
12	⑥開襟シャツ
13	縫い合わせ箇所の理解
14	⑦パンツ
15	コンパスの使い方

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	45	15	0

■ 使用教材・用具

CAD 教科書

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。

ファッションデザイン画 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

この授業では、ファッションコンテストなどに出品する為のプロポーションの描き方、ディティールの表現の仕方、着色について学びます。

■ 到達目標

この授業が終わる頃には、オリジナルのデザイン画が描けるようになっていることを目標とします。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション（画材確認）、プロポーションの描き方
2	様々なプロポーションなどの描き方
3	様々なディティールの描き方など
4	素材別デザイン画（案だし、下描き）シースルー
5	（着色）
6	素材別デザイン画（案だし、下描き）デニム、キルティング
7	（着色）
8	（着色）
9	素材別デザイン画（案だし、下描き）進級制作チェック柄
10	（着色）
11	（着色）
12	素材別デザイン画（案だし、下描き）アニマル柄、ファー
13	（着色）
14	（着色）
15	（着色）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

着色用具一式、テキスト、ケント紙、クロッキー帳

進級制作 I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：1年 コマ数：6 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

足立 由佳子

■ 授業内容

進級制作ファッションショーに向けた制作を実習形式でおこないます。ファッションショー発表のための企画立案からスタイリングまで学びます。

■ 到達目標

重衣料（アウター・コート類）を基本としたコーディネート企画表・デザイン画（B4）、裏地なしパターンメイキング（縮尺・実寸）、柄合わせ裁断、印つけ、縫製がおこなえるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	縮尺パターン制作
2	縮尺パターン制作
3	実寸パターン制作
4	実寸パターン制作
5	仮縫い裁断・サンプル縫製
6	仮縫い裁断・サンプル縫製
7	フィッティング及び修正
8	裁断
9	縫製
10	縫製
11	縫製
12	縫製
13	コーディネート作成（小物）
14	コーディネート作成（小物）
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	65	0	5	10

■ 使用教材・用具

服飾造形講座④ジャケット・ベスト、服飾造形講座⑤コート・ケープ、製図用具、縫製道具

■ 実務経験概要

婦人服社製品のパターン業務、及び高級婦人服メーカーの製造統括業務を経験

PM検定講座Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：3期 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：—
実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブックに沿って、より専門的なファッション造形知識・技術と工業パターンメイキングに関する知識と技術を学ぶ。

■ 到達目標

パターンメイキング技術検定試験3級合格

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック P 24～29
2	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック P 30～263
3	工業パターン縫い代付け
4	3級パターンメイキング技術検定試験対応①
5	3級パターンメイキング技術検定試験対応②
6	3級パターンメイキング技術検定試験対応③
7	3級パターンメイキング技術検定試験対応④
8	3級パターンメイキング技術検定試験対応⑤

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	5	15

■ 使用教材・用具

パターンメイキング技術検定3級ガイドブック、筆記用具、製図用具、洋裁道具一紙

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

ファッションビジネス概論Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1 開講期：3期 科略：FD 学年：1年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

小橋 佳代

■ 授業内容

ファッションビジネス能力検定 3 級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定 3 級問題集」にて復習を行う

■ 到達目標

ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定 3 級ビジネス科目で 60 %以上の正答率が可能になる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ビジネス基礎知識
2	ファッションビジネスの定義と特性
3	繊維ファッション産業の流れ
4	ファッション生活・ファッション消費
5	消費者行動とファッション表現
6	ライフスタイルとファッション
7	お客様の購買行動
8	アパレル産業の概要

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	20	60	10	10

■ 使用教材・用具

ファッションビジネス能力検定 3 級公式テキスト
ファッションビジネス能力検定 3 級公式問題集

■ 実務経験概要

アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

服飾造形Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1.5 開講期：4期 科略：FD 学年：1年 コマ数：3 企業連携：一
実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

縫製仕様書、工業用パターンを使用し、シャツの縫製を行います。

■ 到達目標

縫製仕様書を見ながら工業用パターンを使用したシャツを縫製できるようになる。また、部分縫いを合わせて学び、洋裁道具・職業用ミシン・工業用ミシン・ロックミシンの管理、操作が行えるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	縫製仕様書・パターンのチェック、ポケット製図、地直し、裁断
2	前行程、芯貼り、ポケット、前立て、後ろダーツ
3	ヨーク、衿
4	ケンボロ
5	脇・カフス
6	裾・釦穴
7	釦つけ・提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	70	0	10	0

■ 使用教材・用具

縫製用具

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

情報デザイン検定

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：1期 科略：FD 学年：2年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

村木 威文

■ 授業内容

情報デザインの5つのカテゴリーである、「考え方」「分析力」「論理力」「表現力」「提案力」について「J 検情報デザイン完全対策公式テキスト（JMAMA）」を教科書として学習し、練習課題や過去問題を行うことで、学習効果を確認する。

■ 到達目標

情報を的確に扱い、正確に第三者に伝えるための知識と技術を身に付けることができ、検定に合格することでその裏付けを得ることができるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション／情報デザイン／情報とモラル
2	働きかけ力／調査の考え方
3	調査方法／分析と整理
4	問題解決の考え方／問題解決手法
5	情報構造の考え方／情報表現の手法
6	情報の伝達
7	評価とフィードバック 模擬試験（検定対策1）
8	模擬試験（検定対策2）／まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	40	50	10

■ 使用教材・用具

- ・改訂版 J 検情報デザイン完全対策公式テキスト
- ・筆記用具／付箋（50mm x 50mm 程度のサイズのもの）

■ 履修上の注意

あらゆる分野の「デザイン」の基礎力を問う検定の対策講座。検定受験は必須ではない。

■ 実務経験概要

J 検情報デザイン試験の作問と公式テキストの執筆を行った経験をもとに授業を展開する。

ビジネスマナー／インターンシップ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：1 企業連携：
○ 実務経験のある教員による授業科目：—

宮本 真由美

■ 授業内容

7月～8月の夏期休暇を利用し5日～10日ほどの期間、アパレル関連企業にてインターンシップ実習を行う。受け入れ先企業の選定から実習ファイルの準備、打ち合わせ、実習後のレポート作成等を行う。

■ 到達目標

社会の仕組み、ルール、コミュニケーションに必要なマナーを知り、自信を持って就職活動ができるようになる。アパレル業界の企業形態から企業内の実務知識、職種別の必要技術を卒業までに知ることができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ディスカッション（企業実習制度を知る）
2	企業リサーチ①（全国アパレル企業をリサーチ、リサーチ表3枚作成）
3	企業リサーチ②（岡山アパレル企業をリサーチ、リサーチ表3枚作成）
4	履歴書作成①（3枚）
5	履歴書作成②（3枚）
6	インターンシップ受け入れ先決定、インターンシップファイルの作成
7	実習打ち合わせ準備／名刺作成①
8	名刺作成②
9	名刺作成③
10	ポートフォリオ作成①
11	ポートフォリオ作成②
12	ポートフォリオ作成③
13	ポートフォリオ作成④
14	SPI 対策
15	ポートフォリオプレゼン／名刺・ポートフォリオファイル提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	20	75	0	5	0

■ 使用教材・用具

- ・ 筆記用具
- ・ SPI 対策本

ファッションビジネス検定Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

ファッションビジネス能力検定 2 級対応テキストおよび、問題集を使用し講座を進める。検定対策として問題集を復習する

■ 到達目標

ファッション商品の企画、生産から流通などビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	ファッションビジネスの特性
3	ファッション生活・ファッション消費
4	ファッション産業①
5	ファッション産業②
6	ファッションマーケティング①
7	ファッションマーケティング②
8	ファッションマーチャンダイジング①
9	ファッションマーチャンダイジング②
10	アパレル生産と物流
11	ファッション流通
12	販売管理とプロモーション
13	キャリアプラン ビジネス基礎知識
14	過去問対策①
15	過去問対策②

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	20	60	10	10

■ 使用教材・用具

ファッションビジネス能力検定 2 級公式テキスト

ファッションビジネス能力検定試験 2 級問題集

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

ファッションデジタルⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

長船 圭二

■ 授業内容

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して、ファッションアパレル企画に関わる制作物に取り組む。

■ 到達目標

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して課題制作に取り組む。中級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop 複合操作がおこなえる。ポートフォリオの制作物を印刷出力ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	基本操作の復習とソフトウェアの理解
2	アパレル業界対応の課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
3	アパレル業界対応の課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
4	アパレル業界対応の課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
5	アパレル業界対応の課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
6	アパレル業界対応の課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
7	アパレル業界対応の課題制作.6（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
8	アパレル業界対応の課題制作.7（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
9	アパレル業界対応の課題制作.8（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
10	アパレル業界対応の課題制作.9（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
11	ポートフォリオ課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
12	ポートフォリオ課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
13	ポートフォリオ課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
14	ポートフォリオ課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
15	ポートフォリオ課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン（MacOS）を持参。

■ 実務経験概要

アパレル SPA メーカーで店頭業務およびマーケティング経験

パターンゼミⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

藤森 英樹

■ 授業内容

パターンメイキング技術検定 2 級合格に向けての授業

■ 到達目標

パターンメイキング技術検定 2 級 実技試験合格

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	検定対応 ジャケット課題 1 製図
2	検定対応 ジャケット課題 1 製図
3	検定対応 ジャケット課題 1 製図
4	検定対応 ジャケット課題 1 製図
5	検定対応 ジャケット課題 1 製図
6	検定対応 ジャケット課題 1 製図
7	検定対応 ジャケット課題 1 製図
8	検定対応 ジャケット課題 2 製図
9	検定対応 ジャケット課題 2 製図
10	検定対応 ジャケット課題 2 製図
11	検定対応 ジャケット課題 2 製図
12	検定対応 ジャケット課題 2 製図
13	検定対応 ジャケット課題 2 製図
14	検定対応 ジャケット課題 2 製図
15	検定対応 ジャケット課題 2 製図

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	70	0	20	10

■ 使用教材・用具

製図用具、縫製用具

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

工業パターンⅠ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

藤森 英樹

■ 授業内容

パターンメイキング技術検定筆記に向けての授業。後期のサンプルメイキングで使用する工業パターンの作成

■ 到達目標

パターンメイキング技術検定筆記合格

縫製工場における「量産」のための工業パターン作成ができる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	工業パターンの意味とパターン記号
2	工業パターンの基礎知識
3	グレーディングとは
4	グレーディングとは
5	グレーディングとは
6	PM 技術検定問題対応
7	PM 技術検定問題対応
8	PM 技術検定問題対応
9	PM 技術検定問題対応
10	ジャケットのパターンをトレース
11	縫代付け・角処理
12	部分パターンの考え方・作り方
13	表衿・見返しの展開方法
14	身頃・二枚袖の裏地の展開方法
15	ジャケット工業パターンチェック

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	70	0	20	10

■ 使用教材・用具

ジャケット工業パターンチェック、製図用具

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

立体裁断 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

服の製図をするのには、平面製図と立体裁断がある。平面製図で服をおこす場合、頭の中にそれを立体にしたときの形が頭にはいつてはじめて理解できる。その為に、この授業では立体から平面へ製図をおこし、理解を深めます。

■ 到達目標

トワール、トルソーの扱い方になれ、婦人原型、スカート、衿などのドレーピングを習得する。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション（ボディー、用具の確認、専門用語確認、シーチングの準備など）
2	前身頃のドレーピング
3	後ろ身頃のドレーピング
4	前スカートのドレーピング
5	後ろスカートのドレーピング
6	マーキング、縫い代付け、パターンおこし、修正など
7	組み立て（ミシン使用）
8	スカートのドレーピング課題 1
9	スカートのドレーピング課題 1
10	スカートのドレーピング課題 2
11	スカートのドレーピング課題 2
12	スカートのドレーピング課題 3
13	スカートのドレーピング課題 3
14	衿のドレーピング、各種
15	衿のドレーピング、各種

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

洋裁道具一式、テキスト、ボディー、シーチング

アパレルCADⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり

■ 授業内容

平面パターンの取り込み方法（デジタイズ）、原型を使ってそこからマスターパターンの制作。パターンメイキングの基本操作をマスターする。

■ 到達目標

パターン入力（デジタイズ）から 出力（プロッター）まで、平面パターンから立体パターンにつながるよう理解する

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	○ デジタイズ（マスターパターン入力） パターンにルール付番 記入方法
2	操作手順説明
3	パターン入力方法
4	点の修正・パターン登録 デジタイズ一連の流れの学習
5	○ ハイパーパターンメイキング
6	①男子シャツ原型
7	②男子原型
8	③原型を使ってシャツのマスターパターン制作
9	基礎知識の徹底 理解
10	操作・機能説明
11	操作・機能説明
12	操作・機能説明
13	操作・機能説明
14	実寸大パターン出力
15	プロッター出力方法の説明

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	45	15	0

■ 使用教材・用具

CAD 教科書

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。

デザイン画表現Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

前期は、コンテストに向けての制作となります。

■ 到達目標

コンテストへ出品し、1次審査通過を目指すことにより、モチベーションを上げて、表現の仕方、画材の使い方のレベルアップを目標とします。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	プロポーションの描き方の復習、画材を使つての素材別塗り方の復習など。
2	早描き 15体チャレンジ
3	コンテスト作品制作
4	コンテスト作品制作
5	コンテスト作品制作
6	コンテスト作品制作
7	コンテスト作品制作
8	コンテスト作品制作
9	コンテスト作品制作
10	コンテスト作品制作
11	コンテスト作品制作
12	コンテスト作品制作
13	コンテスト作品制作
14	コンテスト作品制作
15	コンテスト作品制作

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

着色用具一式、テキスト、ケント紙、クロッキー帳

ウォーキングⅡ

分類：専門科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

橋本 典子

■ 授業内容

身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学ぶ。

■ 到達目標

進級卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用し、ランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業説明・ヒアリング
2	昨年度のファッションショーの DVD を見る
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習
4	基本的なウォーキング①
5	基本的なウォーキング②
6	半ターンの練習①
7	半ターンの練習②
8	A ターンの練習①
9	A ターンの練習②
10	B ターンの練習①
11	B ターンの練習②
12	撮影（今の状態を確認・修正）
13	ポージング①
14	ポージング②
15	ポージング③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	30	70

■ 使用教材・用具

スニーカー、動きやすい服装（足のラインがわかるもの）、女性はヒールの靴

ブランドプロデュースⅠ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

産学協同での POP UP ショップ計画を行う。出店に向け商品企画や販促企画を行い、販売実習を行う。

■ 到達目標

ショップに来店して頂くお客様に向けコミュニケーション力、提案力を養いながら産学協同で企画を進めていく力をつける。また、コンテスト出場や発表をする事でプレゼンテーション能力や企画書作成の力をつける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	ポップアップショップ計画の概要
3	ディスカッション
4	マーケットリサーチ
5	企画立案①（コンセプト・ターゲット・商品内容・PR）
6	企画立案②（コンセプト・ターゲット・商品内容・PR）
7	企画プレゼン
8	計数、組織編成、外部企業との契約の進め方
9	学校行事
10	商品制作①
11	商品制作②
12	商品制作③
13	商品制作④
14	商品制作⑤
15	商品制作⑥

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	30	0	0	10	10

■ 使用教材・用具

縫製道具、パソコン

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

ファッションビューティーⅠ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

テーマ別メイクアップ、顔の分析、ヘアウィッグを使って、ヘアアレンジ習得。自由作品の作成。

■ 到達目標

テーマに沿い、モデルの個性を生かしたメイクアップを仕上げる。ヘアアレンジアップスタイル作成ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	メイクアップ基礎復習 スキンケア～
2	ベースメイクアップ復習 立体作り・ローライト・ハイライト
3	メイクアップ 目の修整
4	メイクアップ 眉の修整
5	メイクアップ 唇の修整
6	イメージ・テーマ別メイクアップ
7	イメージ・テーマ別メイクアップ
8	イメージ・テーマ別メイクアップ
9	イメージ・テーマ別メイクアップ
10	ヘアアレンジベーシック
11	ヘアアレンジベーシック
12	ヘアメイク自由作品
13	ヘアメイク自由作品
14	ヘアメイク自由作品
15	ヘアメイク自由作品写真撮影

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
10	20	30	0	10	30

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

デニムジーンズゼミ I

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：4 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

※※未確定

■ 授業内容

地元のデニム・ジーンズ、カジュアルウェアを取り扱う企業にて実習。実践的に縫製や製品作りを学ぶ。

■ 到達目標

5 P ジーンズの仕様や縫製手順を理解し、製品基準が分かるようになる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	健康診断／学校にてディスカッション（授業説明・ジーンズの基礎知識）
2	企業実習 A ①
3	企業実習 A ②
4	企業実習 A ③
5	企業実習 A ④
6	企業実習 A ⑤
7	企業実習 A ⑥
8	企業実習 A ⑦
9	企業実習 A ⑧
10	企業実習 A ⑨
11	企業実習 A ⑩
12	企業実習 A ⑪
13	企業実習 A ⑫
14	企業実習 A ⑬
15	企業実習 A ⑭

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	30	0	50	20

■ 使用教材・用具

裁縫装具・筆記用具

■ 履修上の注意

実習レポート提出必須

ドレス・コスチュームメイキングⅠ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：4 企業連携：－ 実務経験のある教員による授業科目：○

原田 慶子

■ 授業内容

ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物（コサージュ、ヘッドドレス、ベール等）の制作、コーディネートも含まれます。

■ 到達目標

ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	健康診断／コンセプト決め、ドレス・コスチュームデザインやシルエットのリサーチ
2	デザイン画
3	デザイン画色付けの完成 モデル決め
4	採寸（ヒール・パニエ・下着の説明）
5	見本ドレスの説明
6	実寸パターン
7	実寸パターン
8	実寸パターン
9	実寸パターンチェック
10	素材を考慮しながらトワール組み立て
11	素材を考慮しながらトワール組み立て
12	素材を考慮しながらトワール組み立て
13	仮縫いチェック・素材選び
14	フィッティング・パターン修正
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 実務経験概要

ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

ライフデザイン③

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

宮本 真由美, 小橋 佳代

■ 授業内容

後期進級制作・卒業制作ファッションショーに向け、テーマ設定、デザインコンセプト立案、会場構成、演出に至るまで一連の計画を学習する。また、シャツリメイクを行い、学園祭及びファッションショーにて発表する。

■ 到達目標

作品発表の為にコンセプト立案からスケジュールの計画、プレゼンテーション能力が養われる。また、学年を超えてのコミュニケーション能力も身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ファッションショープレゼン（個人）／前期目標シート／面談
2	チーム決め、各チームごとのコンセプト立案
3	各チームコンセプトイメージマッププレゼン
4	シャツドレス制作
5	第1回デザイン画発表
6	第2回デザイン画発表
7	シャツアレンジ制作
8	第3回デザイン画発表（最終）
9	シャツアレンジ制作／ハンガーイラスト提出
10	学校行事
11	シャツアレンジ制作
12	シャツアレンジ制作
13	シャツアレンジ制作
14	シャツアレンジ制作及び提出
15	1/4縮尺製図提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	30	35	0	5	0

■ 使用教材・用具

その都度連絡

ファッションデジタルⅣ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

長船 圭二

■ 授業内容

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して、ファッションアパレル企画に関わる制作物に取り組む。

■ 到達目標

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して課題制作に取り組む。中級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop 複合操作がおこなえる。進級制作と連動したオリジナリデザイン企画制作がおこなえる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アパレル業界対応の課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.1
2	アパレル業界対応の課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.2
3	アパレル業界対応の課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.3
4	アパレル業界対応の課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.4
5	アパレル業界対応の課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.5
6	進級制作連動課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
7	進級制作連動課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
8	進級制作連動課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
9	進級制作連動課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
10	進級制作連動課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
11	進級制作連動課題制作.6（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
12	進級制作連動課題制作.7（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
13	テーマ課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ
14	テーマ課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ
15	テーマ課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン（MacOS）を持参。

■ 実務経験概要

アパレル SPA メーカーで店頭業務およびマーケティング経験

パターンゼミⅣ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

パターンメイキング技術を高めるとともに、袖や衿、パンツなど様々なデザインの製図を学ぶ。またパターンをより理解を深める為此の縮尺製図をもとに CAD 授業にて製図を行う。

■ 到達目標

様々なデザインに対応できるパターンメイキングを習得。パターンと縫製を行うことでより理解が深まる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	衿について／様々な衿の製図 セーラーカラー、ボートネック、V ネック
2	タイカラー、ボーカラー、オブロングカラー
3	ハイネック（見頃続き）、カウルネック、バーカー
4	袖について／様々な袖の製図 フレンチスリーブ、キモノスリーブ
5	ドルマンスリーブ、ラグランスリーブ、エポーレットスリーブ
6	ヨークスリーブ、マチ付き袖
7	コート／ケープ
8	パンツ／フレアパンツ
9	サルエルパンツ
10	ビスチェ
11	見返しによるデザイン変更①
12	見返しによるデザイン変更②
13	トワール組み立て
14	トワール組み立て
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	5	15

■ 使用教材・用具

パターンノート、縮尺製図用具、洋裁用具一式、実寸製図用具、誌上パターン塾 Vol.1、誌上パターン塾 Vol.3、服飾造形講座③、服飾造形講座⑥

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

アパレルCADⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり

■ 授業内容

アパレル CAD を使って製図（マスターパターン）が作れるようになる。複合機能 縫い代付 などレベルアップしたパターン作りを行う。

■ 到達目標

ハイパーパターンメイキングの機能をフルに活用して、作図技法の応用を習得する

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ハイパーパターンメイキング
2	※ 複合機能 操作方法 ・ボタンホール
3	・ピンタック ・ギャザー 等
4	※ 縫い代付 操作方法 ・ラベル入力
5	・コード変更
6	単体・複合を組み合わせたパターン制作
7	単体・複合を組み合わせたパターン制作
8	単体・複合を組み合わせたパターン制作
9	単体・複合を組み合わせたパターン制作
10	単体・複合を組み合わせたパターン制作
11	単体・複合を組み合わせたパターン制作
12	単体・複合を組み合わせたパターン制作
13	単体・複合を組み合わせたパターン制作
14	属性設定（P 化）→ 縫い代付→ 登録
15	パターンファイル出力・実寸パターン出力

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	45	15	0

■ 使用教材・用具

CAD 教科書

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。

デザイン画表現Ⅲ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

テーマ別デザイン画の制作をします。

テーマにあった服のアイデア、バリエーション、色彩計画などを考え、作品におこします。

■ 到達目標

前期とは違い、決められた時間の中で複数体のアイデアをだし、デザインバリエーションを考えて下描き、着色などを進めていくことを目標とします。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	テーマ別デザイン画（バリエーション 5 体）案だし
2	下描き
3	着色
4	着色
5	テーマ別デザイン画（バリエーション 5 体）案だし
6	下描き
7	着色
8	着色
9	テーマ別デザイン画（バリエーション 5 体）案だし
10	下描き
11	着色
12	着色
13	テーマ別デザイン画（バリエーション 5 体）案だし
14	下描き、着色
15	着色

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

着色用具一式、テキスト、ケント紙、クロッキー帳

サンプルメイキング

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

藤森 英樹

■ 授業内容

レディーステーラードジャケットの裁断・縫製の習得

■ 到達目標

レディーステーラードジャケット完成

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	裁断 1
2	裁断 2
3	縫製 1
4	縫製 2
5	縫製 3
6	縫製 4
7	縫製 5
8	縫製 6
9	縫製 7
10	縫製 8
11	縫製 9
12	縫製 10
13	縫製 11
14	まとめ
15	完成チェック

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	10	10

■ 使用教材・用具

ジャケット用中肉ウール素材 2.5 m、縫製用具

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

3Dモデリング I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤森 英樹

■ 授業内容

ファッション 3D モデリストの基礎

■ 到達目標

3DCAD/CLO を使用しての着想シュミレーションができるようになる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	画面構成・ライブラリーの使用方法・ビュー/パーツ制御
2	シュミレーション・衣装の修正・パターンの配置
3	縫い合わせの設定・縫い合わせの編集・粒子間隔
4	アパレル CAD からのパターン変換・アバターのサイズ変更・アバターに変換
5	基本的なワークフロー・左右対称パターンの設定・保存
6	生地の設定・固定と非アクティブ・衣装の修正
7	レイヤーの設定とコーディネート・パターンの表と裏・サブレイヤ設定
8	2D 画面でのパターンの配置関係・複数同士の縫い合わせ・ドレスの作成とデザイン変更
9	ノースリーブシャツの作成とデザイン変更・ステッチとグラフィックの追加・折り曲げ角度とプリーツ
10	ボロシャツの作成・圧力機能で膨らみを表現する
11	パンツの作成・COLORWAY モード
12	ANIMATION モード
13	デザインを変更する I
14	デザインを変更する II
15	レンダリング

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	20	80

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

美容技術 I

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

爪の構造、ネイルケア、皮膚の仕組み、顔の分析、標準のプロポーション、色彩などの基礎知識、技術を習得。

■ 到達目標

ネイリスト検定3級・メイクアップ検定ベーシックレベル習得。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
2	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
3	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
4	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
5	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
6	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
7	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
8	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
9	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
10	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
11	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
12	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
13	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
14	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
15	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	30	0	10	40

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

ブランドプロデュースⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

産学協同での POP UP ショップ計画を行う。出店に向け商品企画や販促企画を行い、販売実習を行う。

■ 到達目標

ショップに来店して頂くお客様に向けコミュニケーション力、提案力を養いながら産学協同で企画を進めていく力をつける。また、コンテスト出場や発表をする事でプレゼンテーション能力や企画書作成の力をつける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	商品制作⑦
2	商品制作⑧
3	商品制作⑨
4	商品制作⑩
5	学校行事
6	店舗準備
7	店舗企画
8	学校行事
9	コンテスト企画①
10	コンテスト企画②
11	コンテスト企画③
12	コンテスト企画④
13	コンテスト企画⑤
14	コンテスト企画⑥
15	プレゼン

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	30	0	0	10	10

■ 使用教材・用具

パソコン

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

ファッションビューティーⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

自由な発想でイメージしたデザインを仕上げ写真撮影を行う。 ファッションショーに向けて、ヘアメイクの立案、モデルのメイクが出来るよう練習を行う。

■ 到達目標

モデルの個性を捉えて、メイクアップの提案が出来る。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	イメージ別メイクアップ
2	イメージ別メイクアップ
3	イメージ別メイクアップ
4	ヘアアレンジ
5	学校行事
6	ヘアメイク自由作品立案
7	ヘアメイク自由作品立案
8	ヘアメイク自由作品立案
9	ファッションショーヘアメイク立案
10	ファッションショーヘアメイク立案
11	ファッションショーヘアメイク立案
12	ファッションショーヘアメイク練習
13	ファッションショーヘアメイク練習・道具準備
14	ファッションショーヘアメイク練習
15	ファッションショーヘアメイク練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
10	20	30	0	10	30

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

デニムジーンズゼミⅡ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：4 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

小橋 佳代

■ 授業内容

オリジナルブランドの中でのアパレル企画から製造までを自ら行う。また同じ製品を数着縫うことで量産するときの効率を考えながら縫製する。

■ 到達目標

製品作りの企画、パターン製図、縫製、加工までの一連を自らの手で行うことで理解する。またブランドの中で企画、デザインをする力を培う。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ディスカッション・新作のコンセプト企画
2	デザイン画・縫製仕様書
3	パターン製図
4	パターン製図
5	仮縫い・修正
6	修正
7	裁断
8	縫製
9	縫製
10	縫製
11	縫製
12	仕上げ・採寸・加工依頼書
13	下げ札・展示企画
14	加工後仕上げ・採寸
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	70	0	5	5

■ 使用教材・用具

裁縫道具・筆記用具・PC

■ 実務経験概要

アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

ドレス・コスチュームメイキングⅡ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

原田 慶子

■ 授業内容

ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物（コサージュ、ヘッドドレス、ベール等）の制作、コーディネートも含まれます。

■ 到達目標

ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	本縫いパターン（パーツパターン）作成
2	本縫いパターン（パーツパターン）作成
3	裁断
4	裁断
5	本縫い
6	本縫い
7	本縫い
8	本縫い
9	本縫い
10	本縫い
11	本縫い
12	本縫い
13	完成・小物作りコーディネート
14	完成・小物作りコーディネート
15	完成・小物作りコーディネート、作品提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 履修上の注意

形態 実務家授業 企業連携 ○ ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

■ 実務経験概要

ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

ライフデザイン④

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

宮本 真由美

■ 授業内容

ファッションショーに向けてのスケジュール立て、各担当の役割分担、パンフレット・チラシの制作などを行う。

■ 到達目標

学年を超えてのコミュニケーション能力が養われる。またショーを企画する事で計画性や協調性が身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	個人面談
2	ファッションショー対応
3	ファッションショー対応
4	ファッションショー対応
5	学校行事
6	ファッションショー対応
7	ファッションショー対応
8	学校行事
9	ファッションショー対応
10	ファッションショー対応
11	ファッションショー対応
12	ファッションショー対応
13	ファッションショー対応
14	ファッションショー対応
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	20	30	0	20	0

進級制作Ⅱ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：2年 コマ数：6 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美、小橋 佳代

■ 授業内容

オリジナルデザインによるパターン、縫製、フィッティング、補正、コーディネイトに至るまでの一連の作業を行う。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。

■ 到達目標

オリジナルデザインによるグレードの高い作品制作ができる。ショーを企画する事で、コミュニケーション能力、計画性、協調性が身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	裁断
2	仮縫い
3	仮縫い
4	仮縫いチェック
5	修正本縫い
6	本縫い
7	本縫い
8	本縫い
9	本縫いチェック
10	修正本縫い
11	コーディネイト制作（小物）
12	コーディネイト制作（小物）
13	コーディネイトチェック
14	照明構成・打ち合わせ資料作成・チケット発送準備
15	ファッションショーへ向けての準備（小物表・ヘアメイクタイムスケジュールなど）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	10	10

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 実務経験概要

- ・ アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験
- ・ アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

ファッションビジネス検定Ⅳ

分類：専門科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：3期 科略：FD 学年：2年 コマ数：1 企業連携：一
実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

ファッションビジネス能力検定 2 級対応テキストおよび、問題集を使用し講座を進める。検定対策として問題集を復習する。

■ 到達目標

ファッション商品の企画、生産から流通などビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ファッション文化とデザイン文化 ファッションコーディネート
2	ファッション商品知識
3	ファッションデザイン ファッションエンジニアリング
4	検定対策①
5	検定対策②
6	小テスト
7	検定対策③
8	検定対策④

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	60	20	10	10

■ 使用教材・用具

ファッションビジネス能力検定 2 級公式テキスト

ファッションビジネス能力検定試験 2 級問題集

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

海外デザインプログラムⅢ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：1 企業連携：
ー 実務経験のある教員による授業科目：ー

長船 圭二

■ 授業内容

3年次では西洋文化を現地実習型で学習します。海外デザインプログラムを通じて、現地実習先の選定、美術館検索、グループ行程表、各種旅行申請など研修旅行に向けての準備を全ておこないます。

■ 到達目標

海外研修旅行中において、より良い実習をおこなえる計画力・実行力を身につけます。また、日本国外の生活文化を学ぶことで安全な行動力を身につけることができます。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	海外デザインプログラムについて（オリエンテーション）
2	現地海外実習計画.1（グループワーク形式：実習先選定）
3	現地海外実習計画.2（グループワーク形式：実習先選定）
4	現地海外実習計画.3（グループワーク形式：実習先選定）
5	現地海外実習計画.4（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
6	現地海外実習計画.5（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
7	現地海外実習計画.6（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
8	現地海外実習計画.7（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
9	現地海外実習計画.8（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
10	現地海外実習計画.9（旅行諸注意・申し込み関係申請等）
11	現地海外実習計画.10（グループワーク形式：行動予定表見直し）
12	現地海外実習計画.11（グループワーク形式：行動予定表見直し）
13	現地海外実習計画.12（最終調整）
14	現地海外実習計画.13（最終調整）
15	現地海外実習計画.14（最終調整）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
60	0	0	0	40	0

■ 使用教材・用具

ノート PC(インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます)

■ 履修上の注意

現地研修（海外研修）参加学生は申し込み関係や計画を立てます。渡航者は必ず締め切り期限を守ってください。

ファッションデジタルV

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

長船 圭二

■ 授業内容

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して、ファッションアパレル企画に関わる制作物に取り組む。

■ 到達目標

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して課題制作に取り組む。上級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop 複合操作がおこなえる。独自のアパレル企画（ユニフォーム企画）を作成・出力ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	基本操作の復習とソフトウェアの理解
2	オリジナルユニフォーム課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
3	オリジナルユニフォーム課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
4	オリジナルユニフォーム課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
5	オリジナルユニフォーム課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
6	オリジナルユニフォーム課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
7	オリジナルユニフォーム課題制作.6（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
8	オリジナルユニフォーム課題制作.7（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
9	オリジナルユニフォーム課題制作.8（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
10	オリジナルユニフォーム課題制作.9（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
11	テーマ別課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
12	テーマ別課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
13	テーマ別課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
14	テーマ別課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
15	テーマ別課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン（MacOS）を持参。

■ 実務経験概要

アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験。

パターンゼミⅤ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美

■ 授業内容

アパレル企業にパターンメーカーとして、より実践的な技術を取得する。

■ 到達目標

パターンメイキング技術検定1級にチャレンジ。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ジャケット製図（過去問題による）
2	ジャケット製図（過去問題による）
3	ジャケット製図（過去問題による）
4	ジャケット製図（過去問題による）
5	ジャケット製図（過去問題による）
6	パーツパターン作成
7	縫い代つけ（工業パターン）
8	縫い代つけ（工業パターン）
9	縫製仕様書作成
10	縫製仕様書作成
11	裏地パターン作成
12	裏地パターン作成
13	縫製仕様書作成
14	縫製仕様書作成
15	立体（半身）、縫製仕様書提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	70	0	5	25

■ 使用教材・用具

製図用具、縫製用具

■ 実務経験概要

アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験

服飾造形Ⅲ

分類：専門科目 形態：実習 単位数：1.5 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：一
実務経験のある教員による授業科目：○

藤森 英樹

■ 授業内容

課題制作作品を通して、量産型の縫製方法を学ぶ。また縫製技術を高めるとともに、さまざまな手法を取得する。

■ 到達目標

手縫いを省いた量産型の縫製方法ができるようになる。またアイテムごとの縫製処理が理解できる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	パンツファスナー付け（カジュアル）
2	パンツファスナー付け（スラックス仕立て）
3	スカート後ファスナー付け
4	タイトスカート縫製（裏地付）
5	タイトスカート縫製（裏地付）
6	タイトスカート縫製（裏地付）
7	ワンピース見返し処理 A
8	ワンピース見返し処理 A
9	ワンピース見返し処理 A
10	ワンピース見返し処理 B
11	ワンピース見返し処理 B
12	両玉ぶちフラップポケット
13	両玉ぶちフラップポケット
14	実技
15	実技

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	5	15

■ 使用教材・用具

製図用具、縫製用具

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

立体裁断Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

服の製図をするのには、平面製図と立体裁断がある。平面製図で服をおこす場合、頭の中にそれを立体にしたときの形が頭にはいつてはじめて理解できる。その為に、この授業では立体から平面へ製図をおこし、理解を深めます。

■ 到達目標

昨年度の授業内容を復習し、理解を深めます。また、立体裁断したトワールを平面製図におこし、それを再度組み立てて、形を把握できるようにします。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	オリエンテーション（ボディーの確認、専門用語と用具の確認、シーチングの準備など）
2	カットソーなどの伸縮素材を使用してオリジナル作品制作
3	布帛を使用してのオリジナル作品制作
4	スカート1（ドレーピング、平面に起こしてパターン修正）
5	前回のスカートを立体作品に制作
6	スカート2（ドレーピング、平面に起こしてパターン修正）
7	前回のスカートを立体作品に制作
8	スカート3（ドレーピング、平面に起こしてパターン修正）
9	前回のスカートを立体作品に制作
10	身頃組み立て
11	衿のドレーピング 1
12	衿のドレーピング 2
13	衿のドレーピング 3
14	衿のドレーピング 4
15	衿のドレーピング 5

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

洋裁道具一式、テキスト、ボディー、シーチング

アパレルCADⅣ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり

■ 授業内容

1年2年で学習した平面から立体パターンの制作の逆の考え方で立体（既製服）から平面のパターン制作の学習。マーキング（型入れ）も併せて理解する。

■ 到達目標

既製服から正確なパターン作り（ラブオフ）が出来るようになる。効率の良い合理的な入力をマスターする。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ハイパーパターンメイキング 既製服からパターン制作（ラブオフ）
2	ハイパーパターンメイキング マスターパターンを作るための採寸方法
3	ハイパーパターンメイキング 修正方法の説明
4	ハイパーパターンメイキング エプロン他 3～5型
5	ハイパーパターンメイキング エプロン他 3～5型
6	ハイパーパターンメイキング エプロン他 3～5型
7	ハイパーパターンメイキング エプロン他 3～5型
8	マーキング（型入れ） 裏付きジャケット
9	マーキング（型入れ） シャツ
10	マーキング（型入れ） パンツ
11	マーキング（型入れ） 各自作ったマスターパターンより
12	マーキング（型入れ） 各自作ったマスターパターンより
13	マーキング（型入れ） 各自作ったマスターパターンより
14	マーキング（型入れ） 各自作ったマスターパターンより
15	マーキング（型入れ） 各自作ったマスターパターンより

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	45	15	0

■ 使用教材・用具

CAD 教科書

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。

デザイン画表現Ⅳ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

前期はコンテスト作品の制作をします。

■ 到達目標

コンテストへ挑戦するにあたり、昨年制作した作品からのレベルアップと、1次審査通過を目指します。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	プロポーションの復習、素材別の表現の仕方の復習など
2	早描き 15 体チャレンジ！
3	コンテスト作品制作
4	コンテスト作品制作
5	コンテスト作品制作
6	コンテスト作品制作
7	コンテスト作品制作
8	コンテスト作品制作
9	コンテスト作品制作
10	コンテスト作品制作
11	コンテスト作品制作
12	コンテスト作品制作
13	コンテスト作品制作
14	コンテスト作品制作
15	コンテスト作品制作

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

着色用具一式、テキスト、ケント紙、クロッキー帳

ウォーキングⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

橋本 典子

■ 授業内容

身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学ぶ。

■ 到達目標

進級卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用し、ランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	授業説明・ヒアリング
2	昨年度のファッションショーの DVD を見る
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習
4	基本的なウォーキング①
5	基本的なウォーキング②
6	半ターンの練習①
7	半ターンの練習②
8	A ターンの練習①
9	A ターンの練習②
10	B ターンの練習①
11	B ターンの練習②
12	撮影（今の状態を確認・修正）
13	ポージング①
14	ポージング②
15	ポージング③

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	30	70

■ 使用教材・用具

スニーカー、動きやすい服装（足のラインがわかるもの）、女性はヒールの靴

ブランドプロデュースⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

産学協同での POP UP ショップ計画を行う。出店に向け商品企画や販促企画を行い、販売実習を行う。

■ 到達目標

ショップに来店して頂くお客様に向けコミュニケーション力、提案力を養いながら産学協同で企画を進めていく力をつける。また、コンテスト出場や発表をする事でプレゼンテーション能力や企画書作成の力をつける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	学校行事
2	ポップアップショップ計画の概要
3	ディスカッション
4	マーケットリサーチ
5	企画立案①（コンセプト・ターゲット・商品内容・PR）
6	企画立案②（コンセプト・ターゲット・商品内容・PR）
7	企画プレゼン
8	計数、組織編成、外部企業との契約の進め方
9	学校行事
10	商品制作①
11	商品制作②
12	商品制作③
13	商品制作④
14	商品制作⑤
15	商品制作⑥

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	30	0	0	10	10

■ 使用教材・用具

縫製道具、パソコン

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

ファッションビューティーⅢ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

テーマ別（ウエディング、ファッション誌、広告） ヘアアレンジ、ネイルアート、ヘアメイク自由作品

■ 到達目標

モデルの個性を捉え、テーマに沿った作品を仕上げる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	スキンケア～基礎復習
2	ベースメイク復習
3	イメージ別 ウエディング
4	イメージ別 ファッションブランド衣装
5	イメージ別 広告
6	ヘアアレンジ
7	ヘアアレンジ
8	ネイルアート
9	ネイルアート
10	ネイルアート
11	ヘアメイク自由作品立案
12	ヘアメイク自由作品立案
13	ヘアメイク自由作品立案
14	ヘアメイク自由作品写真撮影
15	ヘアメイク自由作品写真撮影

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
10	20	30	0	10	30

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

デニムジーンズゼミⅢ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：4 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

※※未確定

■ 授業内容

地元のデニム・ジーンズ、カジュアルウェアを取り扱う服飾企業にて実習。実践的に縫製や製品作りを学ぶ。

■ 到達目標

5 P ジーンズの仕様や縫製手順を理解し、製品になる物の基準が分かるようになり、自らも製品の縫製ができる技術を身につける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	健康診断／学校にてディスカッション（授業説明・ジーンズの基礎知識）
2	企業実習 A ①
3	企業実習 A ②
4	企業実習 A ③
5	企業実習 A ④
6	企業実習 A ⑤
7	企業実習 A ⑥
8	企業実習 A ⑦
9	企業実習 A ⑧
10	企業実習 A ⑨
11	企業実習 A ⑩
12	企業実習 A ⑪
13	企業実習 A ⑫
14	企業実習 A ⑬
15	企業実習 A ⑭

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	30	0	50	20

■ 使用教材・用具

裁縫装具・筆記用具

■ 履修上の注意

実習レポート提出必須

ドレス・コスチュームメイキングⅢ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：4 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

原田 慶子

■ 授業内容

ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物（コサージュ、ヘッドドレス、ベール等）の制作、コーディネートも含まれます。

■ 到達目標

ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	健康診断／コンセプト決め、ドレス・コスチュームデザインやシルエットのリサーチ
2	デザイン画
3	デザイン画色付けの完成 モデル決め
4	採寸（ヒール・パニエ・下着の説明）
5	見本ドレスの説明
6	実寸パターン
7	実寸パターン
8	実寸パターン
9	実寸パターンチェック
10	素材を考慮しながらトワール組み立て
11	素材を考慮しながらトワール組み立て
12	素材を考慮しながらトワール組み立て
13	仮縫いチェック・素材選び
14	フィッティング・パターン修正
15	まとめ

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 実務経験概要

ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

ライフデザイン⑤

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：前期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

宮本 真由美, 小橋 佳代

■ 授業内容

後期進級制作・卒業制作ファッションショーに向け、テーマ設定、デザインコンセプト立案、会場構成、演出に至るまで一連の計画を学習する。また、シャツリメイクを行い、学園祭及びファッションショーにて発表する。

■ 到達目標

作品発表の為のコンセプト立案からスケジュールの計画、プレゼンテーション能力が養われる。また、学年を超えてのコミュニケーション能力も身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ファッションショープレゼン（個人）／前期目標シート／面談
2	チーム決め、各チームごとのコンセプト立案
3	各チームコンセプトイメージマッププレゼン
4	シャツドレス制作
5	第1回デザイン画発表
6	第2回デザイン画発表
7	シャツアレンジ制作
8	第3回デザイン画発表（最終）
9	シャツアレンジ制作／ハンガーイラスト提出
10	学校行事
11	シャツアレンジ制作
12	シャツアレンジ制作
13	シャツアレンジ制作
14	シャツアレンジ制作及び提出
15	1/4縮尺製図提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	30	35	0	5	0

■ 使用教材・用具

その都度連絡

ファッションデジタルⅥ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

長船 圭二

■ 授業内容

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して、ファッションアパレル企画に関わる制作物に取り組む。

■ 到達目標

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用して課題制作に取り組む。上級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop 複合操作がおこなえる。卒業制作と連動したオリジナリデザイン企画物がおこなえる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アパレル業界対応の課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.1
2	アパレル業界対応の課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.2
3	アパレル業界対応の課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.3
4	アパレル業界対応の課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.4
5	アパレル業界対応の課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）アパレルブランド企画.5
6	卒業制作連動課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
7	卒業制作連動課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
8	卒業制作連動課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
9	卒業制作連動課題制作.4（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
10	卒業制作連動課題制作.5（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
11	卒業制作連動課題制作.6（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
12	卒業制作連動課題制作.7（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）
13	テーマ課題制作.1（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ
14	テーマ課題制作.2（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ
15	テーマ課題制作.3（Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習）まとめ

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	100	0	0	0

■ 使用教材・用具

Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン（MacOS）を持参。

■ 実務経験概要

アパレル SPA メーカーで店頭業務およびマーケティング経験

アパレルCADV

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：一 実務経験のある教員による授業科目：○

向江 かおり

■ 授業内容

今まで学習してきた事を復習しながらグレーディングの操作を学習。ファッションショーの衣装のパターン制作、3年間の総まとめとして企業での仕事の流れを理解していく。

■ 到達目標

CAD の役割・位置づけ・就職を意識した総まとめの学習

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ファッションショーの為のパターン制作
2	ファッションショーの為のパターン制作
3	グレーディング
4	①グレーディングについて
5	②配分図の見方
6	③ルールNo・管理表
7	④ピッチ表
8	⑤移動量
9	⑥文字式
10	⑦寸法チェック
11	⑧重ね書き・パターン出力
12	CAD の仕事としての流れ説明
13	デジタイズ（入力） →ハイパーパターンメイキング →
14	複合機能 →ラベル入力 →縫い代付 → パターン出力
15	→ マーキング → 用尺計算 → ミニマーカ出力

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	40	45	15	0

■ 使用教材・用具

CAD 教科書

■ 履修上の注意

課題提出必須

■ 実務経験概要

企業でデザイナー・パタンナー経験。企業 学校等 CAD オペレーション指導またフリーランスで商品企画等を行う。

デザイン画表現Ⅴ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

齋藤 ゆき子

■ 授業内容

後期は、デザインアイデアをだした作品制作をします。

■ 到達目標

決められたテーマではなく、自分の中にあるアイデア、ヒントを作品に出すことで課題にそれが反映されることを目標としています。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	アイデア作品（点描）
2	点描
3	点描
4	点描
5	点描
6	アイデア作品（コラージュ）
7	コラージュ
8	コラージュ
9	コラージュ
10	コラージュ
11	アイデア作品（マチエール）
12	マチエール
13	マチエール
14	マチエール
15	マチエール

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

着色用具一式、テキスト、ケント紙、クロッキー帳

3DモデリングⅡ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

藤森 英樹

■ 授業内容

ファッション 3D モデリストの基礎

■ 到達目標

3DCAD/CLO を使用しての着想シュミレーションができるようになる

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	画面構成・ライブラリーの使用方法・ビュー/パーツ制御
2	シュミレーション・衣装の修正・パターンの配置
3	縫い合わせの設定・縫い合わせの編集・粒子間隔
4	アパレル CAD からのパターン変換・アバターのサイズ変更・アバターに変換
5	基本的なワークフロー・左右対称パターンの設定・保存
6	生地の設定・固定と非アクティブ・衣装の修正
7	レイヤーの設定とコーディネート・パターンの表と裏・サブレイヤ設定
8	2D 画面でのパターンの配置関係・複数同士の縫い合わせ・ドレスの作成とデザイン変更
9	ノースリーブシャツの作成とデザイン変更・ステッチとグラフィックの追加・折り曲げ角度とプリーツ
10	ボロシャツの作成・圧力機能で膨らみを表現する
11	パンツの作成・COLORWAY モード
12	ANIMATION モード
13	デザインを変更するⅠ
14	デザインを変更するⅡ
15	レンダリング

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	0	0	20	80

■ 実務経験概要

高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表

美容技術Ⅱ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

爪の構造、ネイルケア、皮膚の仕組み、顔の分析、標準のプロポーション、色彩などの基礎知識、技術を習得。

■ 到達目標

ネイリスト検定3級・メイクアップ検定ベーシックレベル習得。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
2	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
3	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
4	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
5	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
6	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
7	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
8	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
9	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
10	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
11	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
12	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
13	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
14	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術
15	メイクアップ基礎知識・技術 ネイルケア基礎知識・技術

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	30	0	10	40

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

ブランドプロデュースⅣ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：○

金子 千恵

■ 授業内容

産学協同での POP UP ショップ計画を行う。出店に向け商品企画や販促企画を行い、販売実習を行う。

■ 到達目標

ショップに来店して頂くお客様に向けコミュニケーション力、提案力を養いながら産学協同で企画を進めていく力をつける。また、コンテスト出場や発表をする事でプレゼンテーション能力や企画書作成の力をつける。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	商品制作⑦
2	商品制作⑧
3	商品制作⑨
4	商品制作⑩
5	学校行事
6	店舗準備
7	店舗企画
8	コンテスト概要
9	コンテスト企画①
10	コンテスト企画②
11	コンテスト企画③
12	コンテスト企画④
13	コンテスト企画⑤
14	コンテスト企画⑥
15	プレゼン

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	30	0	0	10	10

■ 使用教材・用具

縫製道具、パソコン

■ 実務経験概要

アパレル企業で企画デザイン担当。独立しアパレルメーカーの企画・販促・WEB ディレクション・スタイリングなど担当

ファッションビューティーⅣ

分類：専門科目 形態：演習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：3 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

浅田 弘美

■ 授業内容

自由な発想でイメージしたデザインを仕上げ写真撮影を行う。ファッションショーに向けて、ヘアメイクの立案、モデルのメイクが出来るよう練習を行う。

■ 到達目標

モデルの個性を捉え、メイクアップの提案が出来る。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	イメージ別メイクアップ
2	イメージ別メイクアップ
3	イメージ別メイクアップ
4	ヘアアレンジ
5	学校行事
6	ヘアメイク自由作品立案
7	ヘアメイク自由作品立案
8	ファッションショーに向けてヘアメイク立案
9	ファッションショーに向けてヘアメイク立案
10	ファッションショーに向けてヘアメイク立案
11	ファッションショーに向けてヘアメイク立案
12	ファッションショーに向けてヘアメイク練習・道具準備
13	ファッションショーに向けてヘアメイク練習
14	ファッションショーに向けてヘアメイク練習
15	ファッションショーに向けてヘアメイク練習

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
10	20	30	0	10	30

■ 使用教材・用具

化粧品・ネイル用具・ヘアブラシ・コーム

■ 履修上の注意

バスタオル・フェイスタオル

化粧品一式は、各自持参（無い物は学校の物を使用する）

■ 実務経験概要

CM・広告撮影・ヘアメイクショーを経験・現在フリーのヘアメイクとして業務に携わる

デニムジーンズゼミⅣ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：4 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

小橋 佳代

■ 授業内容

オリジナルブランドの中でのアパレル企画から製造までを自ら行う。また同じ製品を数着縫うことで量産するときの効率を考えながら縫製する。

■ 到達目標

製品作りの企画、パターン製図、縫製、加工までの一連を自らの手で行うことで理解する。またブランドの中で企画、デザインをする力を培う。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	ディスカッション・新作のコンセプト企画
2	デザイン画・縫製仕様書
3	パターン製図
4	パターン製図
5	仮縫い・修正
6	修正
7	裁断
8	縫製
9	縫製
10	縫製
11	縫製
12	仕上げ・採寸・加工依頼書
13	下げ札・展示企画
14	加工後仕上げ・採寸
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
20	0	70	0	5	5

■ 使用教材・用具

裁縫道具・筆記用具・PC

■ 実務経験概要

アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

ドレス・コスチュームメーキングⅣ

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：2 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：4 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

原田 慶子

■ 授業内容

ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物（コサージュ、ヘッドドレス、ベール等）の制作、コーディネートも含まれます。

■ 到達目標

ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	本縫いパターン（パーツパターン）作成
2	本縫いパターン（パーツパターン）作成
3	裁断
4	裁断
5	本縫い
6	本縫い
7	本縫い
8	本縫い
9	本縫い
10	本縫い
11	本縫い
12	本縫い
13	完成・小物作りコーディネート
14	完成・小物作りコーディネート
15	完成・小物作りコーディネート、作品提出

■ 評価方法と割合（100％）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	20	0

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 履修上の注意

形態 実務家授業 企業連携 ○ ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

■ 実務経験概要

ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験

ライフデザイン⑥

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：1 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：2 企業連携：○ 実務経験のある教員による授業科目：—

宮本 真由美, 小橋 佳代

■ 授業内容

ファッションショーに向けてのスケジュール立て、各担当の役割分担、パンフレット・チラシの制作などを行う。

■ 到達目標

学年を超えてのコミュニケーション能力が養われる。またショーを企画する事で計画性や協調性が身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	個人面談
2	ファッションショー対応
3	ファッションショー対応
4	ファッションショー対応
5	学校行事
6	ファッションショー対応
7	ファッションショー対応
8	学校行事
9	ファッションショー対応
10	ファッションショー対応
11	ファッションショー対応
12	ファッションショー対応
13	ファッションショー対応
14	ファッションショー対応
15	課題提出

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
30	20	30	0	20	0

卒業制作

分類：実践（応用）科目 形態：実習 単位数：3 開講期：後期 科略：FD 学年：3年 コマ数：6 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：○

宮本 真由美、小橋 佳代

■ 授業内容

オリジナルデザインによるパターン、縫製、フィッティング、補正、コーディネートに至るまでの一連の作業を行う。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。

■ 到達目標

オリジナルデザインによるグレードの高い作品制作ができる。ショーを企画する事で、コミュニケーション能力、計画性、協調性が身につく。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	裁断
2	仮縫い
3	仮縫い
4	仮縫いチェック
5	修正本縫い
6	本縫い
7	本縫い
8	本縫い
9	本縫いチェック
10	修正本縫い
11	コーディネート制作（小物）
12	コーディネート制作（小物）
13	コーディネートチェック
14	照明構成・打ち合わせ資料作成・チケット発送準備
15	ファッションショーへ向けての準備（小物表・ヘアメイクタイムスケジュールなど）

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
0	0	80	0	10	10

■ 使用教材・用具

製図用具・縫製用具

■ 実務経験概要

- ・ アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニフォームパターンを経験
- ・ アパレル販売員副店長兼、SNS 広報リーダー経験

海外デザインプログラムⅡ

分類：知識・教養科目 形態：講義 単位数：0.5 開講期：2期 科略：FD 学年：2年 コマ数：1 企業連携：— 実務経験のある教員による授業科目：—

長船 圭二

■ 授業内容

2年次では西洋文化をグループ研究を通じて学びます。様々なジャンルを知ることで、複合的に知識を高めていきます。グループワークを通じてテーマ研究をおこない、グループ発表をおこないます。

■ 到達目標

西洋服装・美術・建築の文化や歴史の基礎知識を習得する。また、滞在地の観光エリアや美術館の知識を身につけ、グループ活動を適切におこなう計画力を養います。

■ 授業計画と内容（表）

回数	内容
1	海外デザインプログラムについて (オリエンテーション)
2	美術館・文化財・生活文化について
3	西洋文化グループ研究.1(グループ別 研究テーマ)
4	西洋文化グループ研究.2(グループ別 研究テーマ)
5	西洋文化グループ研究.3(グループ別 研究テーマ)
6	西洋文化グループ研究.4(グループ別 研究テーマ)
7	西洋文化グループ研究発表会

■ 評価方法と割合（100 %）

成績評価基準は指標の算出方法による

グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他
50	50	0	0	0	0

■ 使用教材・用具

ノート PC(インターネットを利用して、情報収集および資料制作をおこないます)

科目名索引

科目名索引

記号／数字

3DモデリングⅠ	46
3DモデリングⅡ	72
PM検定講座Ⅰ	18
PM検定講座Ⅱ	23
アパレルCADⅡ	33
アパレルCADⅢ	43
アパレルCADⅣ	61
アパレルCADⅤ	70
アパレルCAD演習Ⅰ	20
ウォーキングⅠ	15
ウォーキングⅡ	35
ウォーキングⅢ	63
サンプルメイキング	45
デザイン画表現Ⅱ	34
デザイン画表現Ⅲ	44
デザイン画表現Ⅳ	62
デザイン画表現Ⅴ	71
デジタルワークⅠ	19
デニムジーンズゼミⅠ	38
デニムジーンズゼミⅡ	51
デニムジーンズゼミⅢ	66
デニムジーンズゼミⅣ	77
ドレス・コスチュームメイキングⅠ	39
ドレス・コスチュームメイキングⅡ	52
ドレス・コスチュームメイキングⅢ	67
ドレス・コスチュームメイキングⅣ	78
パターンゼミⅠ	6
パターンゼミⅢ	30
パターンゼミⅣ	42
パターンゼミⅤ	58
ビジネスマナー／インターンシップ	27
ファッションデザイン画Ⅰ	21
ファッションデジタルⅢ	29
ファッションデジタルⅣ	41
ファッションデジタルⅤ	57
ファッションデジタルⅥ	69
ファッションビジネス概論Ⅰ	14
ファッションビジネス概論Ⅱ	24
ファッションビジネス検定Ⅲ	28
ファッションビジネス検定Ⅳ	55
ファッションビューティーⅠ	37
ファッションビューティーⅡ	50
ファッションビューティーⅢ	65
ファッションビューティーⅣ	76
ブランドプロデュースⅠ	36
ブランドプロデュースⅡ	49
ブランドプロデュースⅢ	64
ブランドプロデュースⅣ	75
ヘア・メイク・ネイルⅠ	8
ベーシックデザイン(クロッキー)	12
ベーシックデザイン(色彩)	11
マテリアル	16
ライフデザイン③	40

ライフデザイン④	53
ライフデザイン⑤	68
ライフデザイン⑥	79
ライフデザインⅠ	4
海外デザインプログラムⅠ	17
海外デザインプログラムⅡ	81
海外デザインプログラムⅢ	56
工業パターンⅠ	31
修学基礎	2
情報デザイン検定	26
色彩士検定3級	10
進級制作Ⅰ	22
進級制作Ⅱ	54
卒業制作	80
美容技術Ⅰ	47
美容技術Ⅱ	73
服飾造形Ⅰ	13
服飾造形Ⅱ	25
服飾造形Ⅲ	59
立体裁断Ⅰ	32
立体裁断Ⅱ	60